

平成28年度における読書活動 推進施策について（報告）

－身近なところで本に親しめる環境づくりを－



◀▲八峰町移動図書館車

赤い軽トラ「としょかーん」は
小学1年生が名付け親。冬場閉
じこもりがちな高齢者にも好評。



◀由利本荘市の本荘第一病院での
移動図書館。入院患者も病院職
員も本との出会いを楽しみにし
ている。



◀横手市立図書館が作成したお薦め絵本リスト
「はぐはぐ絵本」。市の健康推進課と連携して生後
4か月健診の際に絵本1冊とともに贈られる。
「読み聞かせは声によるスキンシップ」という、
子育て支援の思いがこもる。

平成29年6月
秋田県読書活動推進本部



高 質 な 田 岐
AKITAVISION

目 次

I	はじめに	1
II	第2次基本計画の概要と施策推進状況	2
III	読書活動推進施策	4
1 家庭における読書活動の推進		
◆あなたの「読みたい！」をサポートします		
(1)	「家族で読書」運動の提唱と普及	4
(2)	子どもの読書推進	5
(3)	中・高校生の読書推進	6
(4)	高齢者の読書推進	7
(5)	図書館の利便性向上と利用促進	7
◆「読書は楽しい！」の気持ちを広げます		
(1)	読み聞かせお薦め絵本の紹介	9
(2)	ホームページやブログ等を活用した情報発信	9
2 学校・職場における読書活動の推進		
◆あなたの「読みたい！」をサポートします		
(1)	就学前施設における読み聞かせの推奨	10
(2)	子どもの発達の段階に応じた読書活動支援	10
(3)	学校図書館の活性化支援と地域開放	11
(4)	大学図書館と県立図書館との連携強化	12
(5)	職場における読書環境の整備	13
(6)	仕事や就労に関連する読書支援	14
◆「読書は楽しい！」の気持ちを広げます		
(1)	児童・生徒・学生の読書への興味・関心を高める取組	15
3 地域における読書活動の推進		
◆あなたの「読みたい！」をサポートします		
(1)	様々なシーンで読書に親しむ活動の推進	16
(2)	市町村立図書館等の利用促進	20
◆「読書は楽しい！」の気持ちを広げます		
(1)	読書ボランティア等への支援	22
(2)	「秋田県読書フェスタ」の開催	23
(3)	秋田県デジタルアーカイブの活用促進	23

4 県民協働による読書活動の推進

◆あなたの「読みたい！」をサポートします	
(1) 県と市町村との協働による推進体制の強化	24
(2) 県民の寄贈によるリサイクル文庫の普及	25
(3) 青少年健全育成における読書活動の推進	25
(4) 高齢者への読書活動推奨	25
(5) 視覚障がい者の読書推進	26
(6) 民間企業・団体等との連携による読書活動の推進	26
◆「読書は楽しい！」の気持ちを広げます	
(1) 「ビブリオバトル」の普及と大会開催	27
(2) 「読書絵はがきコンクール」の開催	28
(3) 幼少期からの読書活動推進体制の強化	28
(4) 「県民読書の日」の啓発	29
(5) 読書の楽しさを伝えるために活動している県民の紹介	31

5 効果測定項目と数値目標【平成28年度】実績一覧 · · 32

I はじめに

読書活動は、県民が人生を豊かに生きる上で大切なものであり、文化的で豊かな社会の構築にも寄与することから、県では、「秋田県民の読書活動の推進に関する条例」(以下「条例」という。)を制定し、平成22年4月1日から施行している。

また、条例に基づき、平成23年3月に「第1次秋田県読書活動推進基本計画」(以下「第1次基本計画」という。)を、平成28年3月に「第2次秋田県読書活動推進基本計画」(以下「第2次基本計画」という。)を策定し、読書活動の推進に関する施策を総合的・計画的に進めている。

本報告は、条例第4条第2項に基づき、平成28年度に第2次基本計画により実施した施策を議会に報告するため、その概要を取りまとめたものである。

○ 秋田県民の読書活動の推進に関する条例【抜粋】

(県民読書活動推進基本計画)

第四条 県は、県民の読書活動の推進に関する施策の総合的かつ計画的な推進を図るため、県民の読書活動の推進に関する基本的な計画(以下「基本計画」という。)を策定するものとする。

- 2 県は、毎年、基本計画により実施した施策を議会に報告するものとする。
- 3 県は、必要があると認めるとときは、基本計画を変更するものとする。

《 読書活動推進体制 》 平成29年4月1日現在

●秋田県読書活動推進基本計画の進行管理

秋田県読書活動推進本部 《知事を本部長とし、各部局長で構成》

●施策の一体的推進

秋田県読書活動推進連絡会
《府内関係12課所で構成》

総合政策課 長寿社会課 障害福祉課
次世代・女性活躍支援課
教育庁総務課 幼保推進課 義務教育課
高校教育課 特別支援教育課 生涯学習課
県立図書館 生涯学習センター

●市町村との協働による推進

秋田県読書活動推進連絡協議会
《県と25市町村で構成》

市町村企画担当課
市町村教育委員会読書活動推進担当課
県企画振興部総合政策課
教育庁総務課
教育庁生涯学習課

◎事務局

〒010-8570 秋田市山王四丁目1番1号

秋田県読書活動推進本部 (秋田県企画振興部総合政策課県民読書推進班)

T E L : 018-860-1216

F A X : 018-860-3873

U R L : seisaku@pref.akita.lg.jp

※秋田県読書活動推進総合ホームページ「あきたブックネット」

II 第2次基本計画の概要と施策推進状況

第2次基本計画のねらい
生活の場に根付いた読書活動の推進

第2次基本計画の施策体系の4つの柱

- 1 家庭における読書活動の推進
- 2 学校・職場における読書活動の推進
- 3 地域における読書活動の推進
- 4 県民協働による読書活動の推進

県民運動推進の視点

- ・あなたの「読みたい！」をサポートします
- ・「読書は楽しい！」の気持ちを広げます

目標(H32)

- 「本を読むのが好きだ」「読書習慣がある」と答える県民の割合が80.0%以上
- 週3時間以上(1日30分以上)読書をしている人の割合が70.0%以上

秋田県では読書条例に基づき、第1次基本計画（平成23年度～27年度）において、県民の読書活動推進に取り組み、「県民読書の日」の制定や県民参加の読書活動を展開するとともに、市町村立図書館や公民館図書室、学校図書館を拠点とする地域の読書環境の充実に努めたほか、全市町村で「子ども読書活動推進計画」を策定するなどの成果を上げてきた。

第2次基本計画(平成28年度～32年度)では、「家庭」「学校」「職場」「地域」という県民の生活の場に応じて、県民の共感を高めながら施策を展開するとともに、市町村、企業、民間団体等と連携・協力し、県民総ぐるみの読書活動を一層盛り上げていくこととし、県民がいつでも、どこでも、だれでも、本に親しむことができる環境の中で、読書でコミュニケーションや仲間づくりを広げ、これからの方創生を支える人づくりにつなげることで、県民や民間団体等による『高質な田舎』を実現し、「日本一の読書県」をめざしていく。

平成28年度施策推進状況

1 家庭における読書活動の推進

家族で読書を楽しみ、読書習慣の形成と家族間のコミュニケーションを深めるため、「家族で読書おすすめ50選vol.2」のパンフレットを全小学校1年生を対象に夏休み前に配布するとともに、子育て支援施設の親子参加イベントとの連携により、「子育てを楽しくする！絵本ワークショップ」を県内3地区で開催して、子どもへの読み聞かせの大切さと、保護者の実践を促したほか、集大成として、地域の読書ボランティア7団体による「プレママ・産後ママと子どもたちに贈る！絵本ライブ」を県児童会館の協力のもとで開催した。

また、県立図書館における子どもの読書に関する相談活動やおはなし会の充実、ティーン向けに進路・趣味・部活・心や体についての本などの悩み解決に役立つ本のコーナー設置や市町村立図書館等を活動拠点とした朗読ボランティアによる高齢者や障がい者向けの朗読サービスの提供など、県民生活に身近な読書環境の充実を図った。

2 学校・職場における読書活動の推進

県教育委員会において、小・中学校21校へ訪問し、学校図書館の環境整備や活用状況について調査・把握するとともに、先進事例の紹介や改善のための助言を行った。また、「読書活動だよりむすぶ」で、特色ある学校図書館の取組等を紹介し、広く情報を共有した。

2

県立図書館の貸出による支援では、高等学校・特別支援学校図書館担当者からのリクエストを受け、図書セット資料の大幅な更新をして児童生徒の読書環境整備を支援した。

職場における読書活動の推進では、読書時間の確保が難しい働き盛り世代の読書環境を整えるため、団体貸出を利用するなど、企業と地域の図書館等が連携して行う企業内文庫の設置と活用について男女イキイキ職場宣言事業所となっている企業に働きかけるとともに、先進事例として秋田プロバスケットボールクラブ(株)の取組を紹介するリーフレットを作成し、普及に努めた。

3 地域における読書活動の推進

プロスポーツチームと連携し、試合会場で選手お薦めの本の展示やマスコットキャラクターを市町村立図書館に派遣して、利用者と一緒に絵本の読み聞かせを楽しんだり、子どもたちに本の貸出を行ったりするなど、スポーツが持つ集客力や情報発信力を活用して、県民が読書に親しめる環境づくりを行ったほか、読書ボランティアを対象に、子育て分野と連携した研修会や活動発表の場を提供、交流会の開催を通して、活動のスキルを向上させるとともに、活動上の課題となっている後継者の育成を図った。

また、全県参加の読書イベント「秋田県読書フェスタ」(10月22日(土)～11月3日(木))を開催し、高校生ビブリオバトル等の県主催事業の他、市町村立図書館・公民館等や地域文庫等の民間の団体においても、おはなし会や図書展示等の読書イベントを集中的に開催することで、地域読書活動推進の気運を高めた。

4 県民協働による読書活動の推進

市町村との協働による推進体制の強化をねらいとして、県・市町村の企画担当部署と教育委員会読書活動推進部署で構成する「秋田県読書活動推進連絡協議会」を設置し、読書環境の地域格差解消等をテーマとした意見交換を行ったほか、全市町村長を「秋田県ブックリーダー」として、おすすめ本の紹介や読書時間確保の工夫などの寄稿をまとめた『私の一冊』を発行した。

また、「県民読書の日」(11月1日)啓発事業として、日本ペンクラブ(会長:浅田次郎)との共催により、「ふるさと文学2016『石川達三の秋田』」を開催し、映像放映や作品朗読、読書に関する座談会などを通して県民の読書活動への関心を高めた。

企業が雑誌のスポンサーとなり、県立図書館や市町村立図書館等へ雑誌を提供してもらうことにより雑誌コーナーの充実を図るとともに、県立図書館においてはスポンサー同士の情報交換や研修を目的とした交流会を開催した。

県生涯学習センターでは、小学校で読み聞かせをしているボランティアグループ、高校生ビブリオバトル参加者、郷土にゆかりのある作家の研究会などを取材して、「行動人」としてウェブサイトで紹介し、読書推進に主体的に取り組む県民の活動を支援した。

III 読書活動推進施策

1 家庭における読書活動の推進

◆あなたの「読みたい！」をサポートします

(1) 「家族で読書」運動の提唱と普及

家族で読書を楽しみ、読書習慣の形成と家族間のコミュニケーションを深めるため、「家族で読書おすすめ50選vol.2」のパンフレットを全小学校1年生を対象に夏休み前に配布した。

また、「子育てを楽しくする！絵本ワークショップ」を鹿角市コモッセ等、県内3地区で子育て支援施設の親子参加イベントと同時開催し、子どもへの読み聞かせの大切さと、保護者の実践を促したほか、集大成として、地域の読書ボランティア7団体による「プレママ・産後ママと子どもたちに贈る！絵本ライブ」を県児童会館の協力のもとで開催した。



◀ 「家族で読書おすすめ50選vol.2」パンフレット

○配布部数

全小学1年生と小学校 9, 218部 (201校)

県内公立図書館等 1, 490部

計 10, 708部

パンフレットでは、子どもに絵本を読み聞かせる時間は、大人にとっても読書を楽しむ時間ですと語りかけている。



◀ 「子育てを楽しくする！絵本ワークショップ」

(鹿角市コモッセ)

○開催状況

- 平成28年6月14日（火）鹿角市コモッセ
- 平成28年6月22日（水）県児童会館
- 平成28年7月 7日（木）横手市Y²ぶらざ

○講師

後藤 節子氏（県児童会館長）

○参加者（3か所計）

親子60組、読書ボランティア57名

後藤館長は、絵本の読み聞かせスキルを楽しく伝えながらも、子育てに自信がもてるように お母さんたちへ声かけをし、参加者の共感を呼んでいた。

「プレママ・産後ママと子どもたちに贈る！絵本ライブ」▶

○開催状況

平成28年11月6日（日）
於：県児童会館けやきシアター



○出演団体

- ・おはなしピッコロ（北秋田市）
- ・お話ポシェット（五城目町）
- ・土崎図書館朗読ボランティア「はまなす」（秋田市）
- ・七色読書会（秋田市）
- ・おはなしボランティア「そよかぜ」（大仙市）
- ・おはなしクローバー（仙北市）
- ・読みかたりグループ「つくしんば」（東成瀬村）

赤ちゃんが泣いてもOK。
出入り自由の絵本ライブ。

○事業内容

- ・ピアノ演奏に合わせた読み聞かせ（けやきシアター）
- ・スープカフェ（けやきシアター・ロビー）
- ・おねまり図書館（2F図書室）
- ・読書ボランティア交流会「絵本でワッ！交流会」（3F音楽室）

○参加者

100名

（2）子どもの読書推進

①子ども向け資料の充実

県立図書館の「えほんのへや」「調べ学習コーナー」の資料の計画的な整備を図り、様々なテーマでの月替わりの絵本展示のほか、こども読書週間や夏休み期間に合わせた児童書の展示等を実施し、子どもの図書館利用を促進した。

❖参考DATA

県立図書館における0～12歳の年間新規登録者数：（H28）450人

②子どもの読書に関する相談活動、おはなし会等の充実

「えほんのへや」で、子どもの読書に関する相談活動を年間68日、おはなし会を24回実施し、子どもの年齢や興味・関心に応じた読書ができるよう支援した。

また、県子ども読書支援センター支援員が作成した年齢別のお薦め本リストを提供し、子どもが様々な本に接する機会を増やした。

❖参考DATA

県立図書館における子どもの読書に関する相談件数：（H28）139件



▲冬のおはなし会の様子



▲年齢別のお薦め本リスト

③医療・保健分野との連携による子どもの読書習慣づくり

医療機関等に「プレママ・産後ママと子どもたちに贈る！絵本ライブ」のポスター やリーフレット等を配布し、子育て支援の視点からも読書活動を推進していることや、幼少期からの読書習慣の大切さを周知した。



◀ 「プレママ・産後ママと子どもたちに贈る！絵本ライブ」 リーフレット

○配布状況

・ 医療機関（小児科・産科・婦人科等）	1 9 2 か所
・ 幼稚園・保育所・認定こども園	1 3 6 か所
・ 子育て支援団体	4 2 か所
・ 子育て支援センター	7 7 か所
・ 読書ボランティア団体	1 8 6 か所
・ 公立図書館等	7 5 か所
計	7 0 8 か所

(3) 中・高校生の読書推進

県立図書館の「teens'コーナー」の資料の整備を図り、進路・趣味・部活・心や体についての本など、ティーンズ世代の悩み解決に役立つ本や、ティーンズ向けの絵本、雑誌を配置し、中・高校生の図書館利用を促進した。



▲teens'コーナー

❖参考DATA

県立図書館における13～18歳の年間新規登録者数：(H28) 201人

(4) 高齢者の読書推進

①高齢者向け資料の整備、シニアコーナーの充実



県立図書館の「シニアコーナー」に趣味や生きがいに関する資料を整備し、多様なジャンルの大活字本を収集・提供し、高齢者の図書館利用を促進した。

◀シニアコーナー

❖参考DATA

県立図書館における60歳以上の年間新規登録者数：(H28) 292人

②高齢者などへの読書支援

読書がしづらくなっている高齢者や障がいの方をサポートするボランティア活動について課題を調査したほか、電話や対面だけではなく、障がい者も健常者も一緒に参加できる朗読会などが始動していることから、多くの県民が「聴く読書」にも親しめるよう、広報のあり方を研究するとともに、出前講座等で、こうしたボランティア活動について周知を図った。



▲「聴く読書」を楽しんだ朗読会

(視覚障がい者団体代表が来賓あいさつ)

❖参考DATA

秋田市立図書館では次の朗読ボランティアグループが視覚障がい者のための電話（対面）朗読サービスを行っている。

- ・レモンの会（明徳館）
(H28) 電話朗読 282件
- ・かもめ（土崎図書館）
(H28) 電話朗読 419件
 対面朗読 4件

※利用者が固定化する傾向があるため、高齢者等が気軽に利用できるよう、体験デーなどを設けて聴く読書の楽しさを理解してもらう取組が必要である。

(5) 図書館の利便性向上と利用促進

①県立図書館の資料の整備と充実

多様な読書ニーズに対応できるよう、資料収集方針に沿った選定を計画的に実施した。また、専門的な外部機関から資料選定について協力を得て、所蔵資料の充実を図った。

❖参考DATA

県立図書館における年間購入冊数：(H28) 14,894冊

②生活課題解決のための読書や図書館利用の促進

県立図書館の健康や介護、子育てなど県民の生活上の課題解決に向けた関連コーナーの資料整備や関係機関のパンフレットの提供等によりコーナーの充実を図ったほか、金融に関するセミナーを実施した。また、県内の市町村立図書館等に課題解決支援サービスについての情報提供やコーナー設置の助言等を行った。



▲生活相談コーナー



▲金融セミナーの様子

❖参考DATA

市町村立図書館等のサービス実施館数：(H28) 51館

③県民の読書ニーズに対応できるサービス機能の強化

多様なニーズに対応できるよう、県立図書館の参考図書や商用データベースを整備し、職員の資質向上のための研修を実施することにより、レファレンス・サービス*機能を強化した。

※レファレンス・サービス

図書館で、資料・情報を求める利用者に対して提供される文献の紹介・提供などの援助のこと。

❖参考DATA

「レファレンスサービスを知っている」と答える利用者の割合《隔年調査》
：(H27) 33.0%

④電子書籍を活用した図書館サービスの充実

スマートフォンやタブレット端末で閲覧できる電子書籍サービスを提供した。

❖参考DATA

県立図書館の電子書籍所蔵点数：(H28) 4,906点

◆「読書は楽しい！」の気持ちを広げます

(1) 読み聞かせお薦め絵本の紹介

親と子どもが心のふれあいを深め、子どもの健やかな育ちを促すため、0歳から小学校低学年を対象とした読み聞かせにお薦めの絵本「マザーズタッチ文庫」52冊を選定し、リーフレットや毎週日曜日の秋田魁新報読書欄のほか、ウェブサイトあきた子育て情報「いっしょにねっと。」で紹介した。



◀県児童会館2F図書室にある「マザーズタッチ文庫」コーナーの絵本を読んでもらう子どもたち

(2) ホームページやブログ等を活用した情報発信

県立図書館のサービスやイベント等の情報をホームページやブログで定期的に発信し、図書館の利用促進を図った。

また、県の総合読書活動推進ウェブサイト「あきたブックネット」において、イベント等の情報提供とともに、全市町村長を地域の読書活動の牽引役として「秋田県ブックリーダー」と位置付け、「私の一冊」の寄稿を掲載したほか、秋田県公式Facebookで情報提供することにより、ウェブサイトへアクセスしやすい環境を整えた。



◀県立図書館ブログ

秋田県立図書館ブログでは、館内の様々な案内やイベントの様子を定期的に発信している。

秋田県立図書館 検索

❖参考DATA

県立図書館ホームページのアクセス数：

(H28) 250,146件

The screenshot shows the homepage of the Akita Book Network (あきたブックネット). It features a search bar at the top right and a sidebar with various links like TOP, 市の南宿, 読書ボランティア, etc. The main content area is titled '秋田市長のおすすめの一冊' (Recommended book by the Mayor of Akita City) and features a portrait of 勝俣 勝市長 (Katsuyuki Katsuyama) with his name below it. To the right, there's a section titled '歓迎抄をひらく' (Welcome copy) featuring a book cover for '歓迎抄' by 高森 順次 (Kōson Junsi), published by 17年堂出版 (17-nen-dō Shuppan).

▲ 「あきたブックネット」の「私の一冊」のサイト

❖参考DATA

「あきたブックネット」のアクセス数：(H28) 4,932件

2 学校・職場における読書活動の推進

◆あなたの「読みたい！」をサポートします

(1) 就学前施設における読み聞かせの推奨

乳幼児が本に親しみをもつことができるよう、各幼稚園・保育所・認定こども園等の訪問指導において、保育者に対して読み聞かせを推奨するとともに、その方法、図書コーナーの在り方について適宜指導・助言を行った。また、新規採用者研修において、読書及び読み聞かせに関する研修を実施した。



◀新規採用者研修の様子

○開催状況

平成28年10月18日（火）

於 秋田県生涯学習センター

○講師

金田 昭三氏（児童文化研究家）

○参加者数 110名

(2) 子どもの発達の段階に応じた読書活動支援

①小・中学校における取組

子どもたちが読書に親しむとともに、授業等で学校図書館を有効に活用する

ことができるよう、児童生徒の主体的な図書館利用や教科における図書の活用等について学校訪問等で指導した。

また、学校図書館・公立図書館・ボランティア等のネットワーク化による読書環境の充実について情報提供を行い、読書啓発の呼びかけを行った。

②高等学校における取組

読書への意識啓発と図書委員会^{*}の主体的な活動の充実を図るとともに、家庭科の学習を通じた、絵本の読み聞かせ等の実習を奨励し、将来、親になったときに子どもに読み聞かせをすることの意義について理解を深められるよう呼びかけた。

※図書委員会

生徒会活動の一つで、学校図書館に関する活動を行う委員会。

③特別支援学校における取組

学校訪問や会議の機会に、読書環境の重要性について情報提供し、さらなる取組の充実に向けて働きかけた。各校では校舎の様々な場所を活用し、幼児児童生徒の身近な場所に、手に取りやすく、興味・関心を高める工夫をするなどして、環境の充実を図った。また県立図書館等のセット貸出を積極的に利用して、より多くの選択肢の中から本を選ぶことができるようにした。

(3) 学校図書館の活性化支援と地域開放

①情報提供や貸出による支援

小・中学校21校へ訪問し、学校図書館の環境整備や活用状況について調査・把握するとともに、先進事例の紹介や改善のための助言を行った。

また、「読書活動だより むすぶ」で、訪問校や「子どもの読書活動優秀実践校」として文部科学大臣表彰を受けた学校の特色ある取組を紹介し、生涯学習課ホームページへ掲載した。

県立図書館の貸出による支援では、高等学校・特別支援学校図書館担当者からのリクエストを受け、図書セット資料の大幅な更新をして児童生徒の読書環境整備を支援した。

○平成28年度文部科学大臣表彰

【子どもの読書活動優秀実践校・図書館・団体】

- ・羽後町立西馬音内小学校、能代市立能代南中学校、秋田県立能代支援学校
- ・小坂町立小坂図書館
- ・おはなししたんぽぽの会（由利本荘市）

▼学校図書館の取組の様子



▼「むすぶ」で県内の取組を 詳しく紹介（隔月発行）



読書活動だより むすぶ 検索

◆参考DATA

県立図書館から学校図書館への年間貸出冊数：(H28) 10,942冊 (62校)

県立図書館の学校向け図書の年間購入冊数 : (H28) 2,419冊

②県立学校図書館職員等への研修機会の提供

県立学校図書館関係職員や高等学校の図書委員会生徒を対象として、能力向上や相互交流の活性化を図るため、県立図書館の資料を活用した研修会を実施した。



◀学校図書館職員等研修会の様子

○開催状況

平成28年8月2日 (火)

於 秋田県立図書館 3F多目的ホール

○講師

秋田県立図書館

企画・広報班長 中山 恵理子

○参加者数

教職員13名 生徒14名 計27名

③地域開放に向けた取組

学校図書館が保護者や地域の人々との連携協力によって地域に開かれていく優良事例について、学校訪問等で各小・中学校に情報提供した。

(4) 大学図書館と県立図書館との連携強化

県立図書館と相互協力協定を締結している大学図書館(秋田大学、秋田県立大学、国際教養大学)間で、各館の所蔵資料を利用者が活用できるよう、相

互貸借を推進した。

❖参考DATA

県立図書館と大学図書館との相互貸借における

年間貸出冊数：(H28) 349冊

年間借受冊数：(H28) 66冊

(5) 職場における読書環境の整備

①企業内文庫の設置

読書時間の確保が難しい働き盛り世代の読書環境を整えるため、団体貸出を利用するなど、企業と地域の図書館等が連携して行う企業内文庫の設置と活用について、男女イキイキ職場宣言事業所^{*}となっている企業に働きかけるとともに、先進事例として秋田プロバスケットボールクラブ(株)の取組を紹介するリーフレットを作成し、普及に努めた。

※男女イキイキ職場宣言事業所

女性の能力の活用や、仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）など、職場内の男女共同参画の取組を進め、女性も男性もイキイキと働くことのできる職場づくりをめざし、「男女イキイキ職場宣言」により、県と協定を結んだ事業所。

②女性の活躍を応援する読書活動の推進

企業内文庫を設置している企業等において、女性の活躍推進のためのセミナーなどの開催に合わせ、講師お薦め本をセミナー会場で紹介・展示するなど、読書活動の視点からも女性の活躍を応援する企業を拡大するための働きかけを行った。

❖参考DATA《企業アンケート》

【読書活動について】

- ・忙しい日常において、読書時間の捻出はなかなか難しい。しかし、本が身近にあれば、「読みたい」という気持ちを喚起できる。企業としても、社員に読書を勧めたい。
- ・趣味の読書だけではなく、金融・ビジネスに関する本、地方創生に関する本、子育て中の社員ならば子どもに読み聞かせしたい本などにも挑戦してほしい。

【取組のネックとなること】

- ・職場の中に本があれば、すぐに手にとって読むことができる。1か所に社員が集まっている企業なら、休憩室に置くなどすれば、負担なくできるかもしれない。
- ・図書館との団体貸出では、社員の希望を聞いて、毎月図書館に出向いて選書し、借りる手続きを行い、会社に持ち帰り、貸出を管理し、また図書館に返す、を無理のない方法でできるような仕組みが必要だ。

▼企業としての読書活動「HONTOKU」（ホントク）を紹介した「ハピネットツとハッピー読書」リーフレット（18,000部作成）



◆参考DATA《県民意識調査》

「1日平均30分以上読書をしている」と答えた人の割合

30歳代：(H28) 35.2%

40歳代：(H28) 32.4%

読書時間が確保できない理由(2つまで回答)

- | | |
|---------------------|-------|
| ①仕事が忙しいから | 45.9% |
| ②他に興味のあることやその活動が忙しい | 32.5% |
| ③家事・育児が忙しい | 23.1% |

(6) 仕事や就労に関連する読書支援

仕事上の課題解決や就労のための資格取得等を支援するため、県立図書館の「ビジネス支援コーナー」で、資料整備や関係機関のパンフレットの提供等によるコーナーの充実を図った。また、県内の市町村立図書館等にビジネス支援サービスについての情報提供やコーナー設置の助言等を行った。



◀ビジネス支援コーナー

◆参考DATA

市町村立図書館等のビジネス支援サービス実施館数：(H28) 15館

◆ 「読書は楽しい！」の気持ちを広げます

(1) 児童・生徒・学生の読書への興味・関心を高める取組

①小・中学生が主体的に読書ができるような授業づくりの紹介

学校訪問等で学校図書館の活用状況等について把握し、主体的な読書活動を促す先進的な取組について情報提供を行った。

②高校生の主体的な読書活動の充実

社会に出てからも読書時間を確保し、生涯にわたって読書に関心を持つことができるよう、学校間での先進事例の共有化を図った。また、ゲーム感覚で好きな本を紹介するビブリオバトルをきっかけとして、読書の楽しさを知り、仲間づくりやコミュニケーション力を高められるよう、積極的な参加を促した。

○開催状況

- ・秋田大会（於 秋田市立中央図書館明徳館）
平成28年8月6日（土） 8名参加
- ・能代大会（於 能代市立中央図書館）
平成28年9月24日（土） 8名参加
- ・横手大会（於 サンサン横手）
平成28年10月1日（土） 5名参加
- ・由利本荘大会（於 由利本荘市中央図書館）
平成28年10月8日（土） 4名参加
- ・大館大会（於 大館市立中央図書館）
平成28年10月15日（土） 7名参加
- ・全県大会（於 県生涯学習センター）
平成28年11月3日（木） 10名参加

高校生ビブリオバトル秋田県大会で
熱い思いを語るバトラー▶



③特別支援学校における読書活動の充実

学校訪問や会議の機会に、読書環境の重要性について情報提供し、さらなる取組の充実に向けて働きかけた。各校では、児童生徒自身が校内外で読み聞かせや図書の紹介をしたり、保護者や地域ボランティアによる読み聞かせを取り入れたりすることで、本に親しむことができる機会を数多く設けた。

また、学校によっては、本や読書に対する幼児児童生徒の興味・関心を高め、表現力や感性を育むために、教員が県立図書館や市立図書館で研修を行い、助言を受けている。



◀読み聞かせボランティアによる学習

❖参考DATA

特別支援学校において様々な読書活動に
関わり、本に親しんだ児童・生徒
の割合：(H28) 97.2%

④図書館における読書への興味・関心を高める取組

県立図書館において、小・中・高等学校のセカンドスクール*的利用(30校・154人)や、大学生のインターンシップを受け入れ、校種別に合わせた体験内容を提供することにより、図書館の仕事や役割について理解してもらうとともに、読書に対して関心を高めることができるよう取り組んだ。利用した生徒からのアンケートでは、図書館の機能について理解し、職業について考えるきっかけとなったという声が数多く寄せられた。

*セカンドスクール

児童生徒が学校を離れた場所で、様々な自然体験や社会体験を行う授業。

図書館においては図書館職員の体験を行う。



▲セカンドスクールにおける施設見学・職場体験の様子

3 地域における読書活動の推進

◆あなたの「読みたい！」をサポートします

(1) 様々なシーンで読書に親しむ活動の推進

①プロスポーツチーム等との連携による読書活動の推進

プロスポーツチームと連携し、試合会場で選手お薦めの本を展示したり、マスコットキャラクターが市町村立図書館等で利用者と一緒に絵本の読み聞かせや本の貸出を行ったりするなど、スポーツが持つ集客力や情報発信力を活

用して、県民が読書に親しめる環境づくりを行った。

「ハピネットとハッピー読書」(バスケットボール)

▼「ビッキー」から図書の貸出をしても
らう子どもたち（能代市立図書館）



▼CNAアリーナに設置された
読書ブース



○連携事業内容

- ・試合会場図書コーナー設置（7回）
- ・選手学校訪問において、お薦め本の紹介など読書活動の推進（6回）
 - 五城目町立五城目小学校 …高橋憲一選手
 - 秋田市立港北小学校 …藤江建典選手
 - 秋田市立旭北小学校 …水町亮介選手
 - 秋田市立保戸野小学校 …スコット・モリソン選手
 - 東成瀬村立東成瀬小学校 …白濱僚祐選手
 - 大館市立長木小学校 …菅澤紀行選手 児童数計423名
- ・公式ウェブサイト上で、連携事業の告知やお薦め本の紹介連載（10回）
- ・読み聞かせイベントへの「ビッキー」の出演（2回）
 - 秋田市立土崎図書館 平成28年12月3日（土） 参加者45名
 - 能代市立図書館 平成28年12月4日（日） 参加者40名

「ブラウブリッツとエンジョイ読書」(サッカー)

▼「ブラウゴン」のクイズを楽しむ
子どもたち（秋田市立新屋図書館）



▼あきぎんスタジアムに設置された
読書ブース



○連携事業内容

- ・試合会場図書コーナー設置（6回）
- ・公式ウェブサイト上で、連携事業の告知やお薦め本の紹介連載（10回）
- ・選手学校訪問において、お薦め本の紹介など読書活動の推進（5回）
 - 秋田市立太平小学校…前山恭平選手
秋田市立八橋小学校…山田尚幸選手・下田光平選手
秋田市立明徳小学校…青島拓馬選手・深井脩平選手
秋田市立築山小学校…熊谷達也選手・新里彰平選手
秋田市立旭南小学校…松本拓也選手・新里彰平選手 児童数計 252名
- ・読み聞かせイベントへの「プラウゴン」の出演（2回）
 - 由利本荘市中央図書館 平成28年7月25日（月） 参加者 55名
 - 秋田市立新屋図書館 平成28年7月27日（水） 参加者 31名

②様々な県民運動との連携による読書活動の推進

日本ペンクラブとの共催により開催した「ふるさと文学2016『石川達三の秋田』」において、秋田県花いっぱい運動の会より「花で読書を応援する」として、ステージ花や座談会用のブーケに秋田県のオリジナル品種「NAMAHAGEダリア」を中心としたアレンジメントを提供してもらい、好評を博した。

また、「子育て応援団実行委員会」(ABS秋田放送・県・秋田市ほか)が主催する「すこやかあきた2016」に、秋田県読書活動推進本部(総合政策課・県立図書館)として参加し、来場者を対象とした絵本ブースを出展した。



花いっぱい運動の会 ▲►
協賛のNAMAHAGEダリアを
中心とした県産花
(「石川達三の秋田」会場)



「すこやかあきた2016」
出展ブース ▶
(写真提供：A B S秋田放送)
【全体入場者数約3万5千人】



③県児童会館での子どもの読書活動の推進

県子ども読書支援センター*から県児童会館図書室へ子ども向けの図書の貸出を行うとともに、図書室運営について支援し、子どもが本に触れ、読書の楽しさを体験する機会を増やした。

*県子ども読書支援センター

子どもの読書活動に関する広報、啓発、調査研究活動や各種イベントの開催を行うことを目的に県立図書館内に設置されている。同支援センタースタッフが「えほんのへや」で子どもの読書に関する相談を受け付けるほか、県内の読書ボランティア団体や学校図書館、保育園、幼稚園を対象に読み聞かせ資料の貸出等も行っている。

♦参考DATA

県子ども読書支援センターから県児童会館図書室への資料貸出冊数：

(H28) 1,033冊

④「子ども読書の日」の周知と取組奨励

「子ども読書の日」啓発ポスターを幼稚園や学校、社会教育施設、書店等に配布し周知を図るとともに、「子ども読書週間」における市町村の読書関係事業の取組状況を調査し(全県195イベント)、特色ある事業を読書だより「むすぶ」で紹介した。



◀2016年度「子ども読書の日」ポスター

○子ども読書の日

「子どもの読書活動の推進に関する法律」で4月23日が「子ども読書の日」と定められている。

これは、シェイクスピア（英国）とセルバンテス（スペイン）の命日である4月23日をユネスコが「世界・本と著作の日」と宣言していることにちなむ。

○サンジョルディの日

日本では出版関係団体が、4月23日を親しい人に本を贈る「サンジョルディの日」として呼びかけている。

(サンジョルディはスペインの守護聖人名。カタルーニャ地方では命日に市の花と共に本を贈り合う習慣がある。)

⑤生涯学習としての読書活動の奨励

あきたスマートカレッジの中で、文学関連の講座として「日本近代文学への招待」「文学基礎講座」「北海道・東北文学のつながり」の全16講座を開催した。また、各市町村の要望に応じて生涯学習手帳を配布し、その活用を促すとともに、学習単位の認定と称号の授与を行った。生涯学習手帳を活用している市町村は18市町村から21市町村に増加した。



▲ ブロンズ・マナビストの皆さん



▲ 「日本近代文学への招待」講座

◆参考DATA

○学習単位の認定

- 1 単位：①県や市町村、大学、関連団体、企業等が主催する事業や講座の受講
90分
②個別学習（放送大学1講座、読書1冊、博物館・美術館等の見学）
③奨励活動（講座の指導者、ボランティア活動等）

○称号の授与

- | | |
|-------------|-------------------|
| ☆わかすぎ・マナビスト | 50単位修得・・・高校生以下が対象 |
| ☆ブロンズ・マナビスト | 100単位修得 |
| ☆シルバー・マナビスト | 300単位修得 |
| ☆ゴールド・マナビスト | 500単位修得 |
| ☆プラチナ・マナビスト | 1000単位修得+論文提出 |

（2）市町村立図書館等の利用促進

①地域の人材や資料等の特徴を生かした利用促進

読書活動だより「むすぶ」で県内の様々な取組を紹介し、学校や社会教育機関等へ配布するとともに、生涯学習課ホームページへ掲載した。また、県や市町村の読書推進担当者が集まる会議等において、学校図書館等での取組に関する情報提供を行った。



◀学校図書館活性化支援による学校訪問を特集した「読書活動だより むすぶ」第49号
(平成28年7月26日発行)

読書活動だより むすぶ 検索

②県立図書館の支援による利用促進

県立図書館や県子ども読書支援センターの資料を市町村立図書館等へ貸出し、住民の図書館利用や読書活動を支援した。また、市町村立図書館等を延べ149館訪問し、図書館運営等に関する助言や情報提供を行ったほか、電話やメールでの相談にも対応した。



▲市町村立図書館向けセット資料を貸出し

♦参考DATA

県立図書館から市町村立図書館等への年間貸出冊数：(H28) 22,682冊
(64館)

県立図書館への市町村立図書館等からの相談件数 : (H28) 175件

③市町村立図書館等職員の育成

市町村立図書館等職員を対象とした図書館の運営に関する研修会を県立図書館で開催したほか、市町村立図書館等への出前型研修も実施した。また、地域の読書推進の取組を主体的に実施できるリーダー的な役割を担う職員の育成を図った。



▲県立図書館での研修の様子



▲出前型研修会の様子

◆「読書は楽しい！」の気持ちを広げます

(1) 読書ボランティア等への支援

①地域の読書活動を支える人づくり

市町村立図書館や学校図書館等を活動拠点として読み聞かせ・朗読等を行う読書ボランティアを対象に、活動上の課題となっている後継者の育成にもつながるよう、子育て分野と連携した研修会や活動発表の場を提供し、活動のスキルを向上させるとともに、交流会の開催を通して情報交換を行った。

○「子育てを楽しくする！絵本ワークショップ」

鹿角市、秋田市、横手市で開催 参加者合計 57名

○「プレママ、産後ママと子どもたちに贈る！絵本ライブ」

県児童会館で開催 参加団体 7団体

※事業詳細は、4～5ページ「家庭における読書活動の推進」参照



▲ピアノ伴奏付きの絵本ライブ



▲絵本でワッ！交流会

❖参考DATA

○読書ボランティアの活動状況

- ・学校の統合等により団体・会員数に減少傾向が見られ、後継者の育成が課題となっている。
- ・ボランティア団体総数
㉖ 205団体→㉗ 199団体→㉘ 178団体

- ・ウェブサイト「あきたブックネット」掲載団体（掲載を承諾した団体のみ）

		県北地区	中央地区	県南地区	合 計
H26	団 体 数	2 8 団体	4 4 团体	3 3 团体	1 0 5 团体
	会 員 数	3 9 4 人	7 2 6 人	3 4 6 人	1 , 4 6 6 人
H27	団 体 数	2 7 团体	4 5 团体	3 2 团体	1 0 4 团体
	会 員 数	3 7 9 人	7 0 7 人	3 4 5 人	1 , 4 3 1 人
H28	団 体 数	3 1 团体	6 6 团体	3 7 团体	1 3 4 团体
	会 員 数	4 3 3 人	1 , 0 0 6 人	3 8 2 人	1 , 8 2 1 人

②読み聞かせ団体等への活動支援

県内の読み聞かせ団体等の活動を支援するため、県立図書館と県子ども読書支援センターからボランティア団体等へ資料を貸出した。

♦参考DATA

県立図書館からボランティア団体等への年間貸出冊数：(H28) 542冊

県子ども読書支援センターからボランティア団体等への年間貸出冊数：

(H28) 2,720冊

(2) 「秋田県読書フェスタ」の開催

10月22日(土)～11月3日(木)に秋田県読書フェスタを開催し、全県で169イベントを実施した。期間中は高校生ビブリオバトル等の県主催事業のほか、全ての市町村の図書館・公民館等に加え、地域文庫等の民間の団体においても、おはなし会や図書展示等の読書イベントが開催された。



◀ 「秋田県読書フェスタ」パンフレット

♦参考DATA

「秋田県読書フェスタ」における

県主催の読書イベントの参加人数：(H28) 1,636人

(3) 秋田県デジタルアーカイブの活用促進

県内の教育機関や県立図書館等が所蔵している資料等の情報を一元的に検索できるポータルサイト「秋田県デジタルアーカイブ」を提供し、県民への情報提供サービスの向上を図った。

秋田県デジタルアーカイブ	検索
--------------	----

※秋田県デジタルアーカイブ

参加機関

県立図書館、あきた文学資料館、
県立博物館、近代美術館、
埋蔵文化財センター、
生涯学習センター、公文書館
(登録データ数は約 61 万件)



4 県民協働による読書活動の推進

◆あなたの「読みたい！」をサポートします

(1) 県と市町村との協働による推進体制の強化

「秋田県読書活動推進連絡協議会」を設置し、全市町村長を「秋田県ブックリーダー」として「私の一冊」を発行したほか、公立図書館の図書購入費の予算確保に向けた依頼文書の発出などにより、地域読書環境の充実のため、県と市町村が協働で取り組んだ。

○平成28年度秋田県読書活動推進連絡協議会の活動

【設立】平成28年5月9日（月）

【目的】①県と市町村の協働による推進体制の強化
②県民の読書環境の地域格差の解消
③学校図書館等の活動の充実 等

【構成】市町村企画担当課長、市町村教育委員会読書活動推進担当課長、県総合政策課長、県教育庁総務課長、県教育庁生涯学習課長

【役員】会長：県総合政策課長

副会長：八峰町生涯学習課長、潟上市企画政策課長、横手市図書館課長
(副会長は任期2年)

【活動】・会議：全体会1回、地区会議3回
・全市町村長による『私の一冊』発行
・「公立図書館等の図書購入費の確保について」県企画調整部長名で市町村長(秋田県ブックリーダー)あて依頼文書発出

(2) 県民の寄贈によるリサイクル文庫の普及



子どもたちの身近な場所での読書環境づくりや、大人の読み聞かせを進めるため、県民から絵本を寄贈してもらい、修繕の上、保育所や幼稚園などの施設や病院・商店街などに配布して再利用を図った。

◀ H 23～28 「スギッチャリサイクル文庫」の寄贈

お礼のポスター(県内公立図書館に配布)

※報告書裏表紙参照

❖参考 DATA

スギッチャリサイクル文庫の状況 :

(H 28) 寄贈冊数2,363冊、寄贈者数86人

配布施設数129か所

(3) 青少年健全育成における読書活動の推進

青少年健全育成審議会(環境浄化部会)で推奨された優良図書の県公報の告示、あきたブックネットや男女共同参画課(現 次世代・女性活躍支援課)のホームページへの掲載など、市町村、関係機関を通して県民への周知を図った。

2017年3月10日推奨優良図書



みつばち高校生富士見高校養蜂部物語

著者:森山あみ

発行所:リンデン舎

■推奨理由

一人の女子高生が日本ミツバチの魅力に惹かれて、全国でも珍しい”養蜂部”を誕生させ、創部から3年で農業甲子園で優勝するまでの奮闘の日々を描いたノンフィクション。傍らの、程よい距離感で生徒たちを指導する教師や若者を暖かく包み込む地元の人たちが、小さなミツバチの命を守り抜くことを通して心をつなぎ合わせていきます。脚本家である作者の丁寧な取材に基づく文章は、若者達の苦悩や喜び、それぞれの進路へとつながる軌跡を臨場感たっぷりに描きます。

(4) 高齢者への読書活動推奨

秋田LL大学園で読書に関する講座を開催するなど、関係団体を通じ読書に関する情報提供を行った。



◀秋田ＬＬ大学園での読書講座。クイズや絵本の読み聞かせなどのほか、図書館の大活字本についても紹介し、高齢者の読書意欲を喚起した。

(5) 視覚障がい者の読書推進

障がい者の読書機会の充実を目指して、秋田県点字図書館においてボランティアを中心に点字図書や音声図書等の製作を行い、これらの図書の貸出を通して視覚障がい者への図書提供サービスの向上に努めた。

○図書製作	点字図書：135タイトル 音声図書：108タイトル
○図書貸出	点字図書：471タイトル 音声図書：6,827タイトル 定期刊行物：10,932タイトル

(6) 民間企業・団体等との連携による読書活動の推進

①雑誌スポンサー制度*の充実

企業が雑誌のスポンサーとなり、県立図書館や市町村立図書館等へ雑誌を提供してもらうことにより、雑誌コーナーの充実を図った。

また、県立図書館では、企業活動を県民に周知するための雑誌スポンサー紹介コーナーの設置や、スポンサー同士の情報交換・研修を目的とした交流会を開催した。



▲雑誌スポンサー紹介コーナー



▲雑誌スポンサー交流会「ビジネスカフェ」

※雑誌スポンサー制度

図書館の雑誌に民間企業等の情報発信を組み込み、雑誌コーナーの充実を図ることを目的とした資料寄贈の制度。選書は図書館で行い、スポンサー企業は購読料を負

担する。対象となる雑誌には専用カバーを取り付けてあり、スポンサーとなっている企業名や広告を表示することができる。

◆参考DATA

公立図書館のスポンサー企業数：(H28) 65企業

②外部機関等と連携した図書館利用促進

県立図書館の情報提供機能を一層充実させるため、県の関係機関等と連携した展示やセミナーを開催した。



▲博物館と連携した特別展示



▲公益財団法人との共催による
読書バリアフリー研究会

③書店団体等と連携した読書活動の推進

書店の多くが市町村立図書館等と連携して、地域の読書拠点となっていることから、全市町村長による「私の一冊」の情報提供やイベント情報、オリジナルブックカバーの提供などを通し、協働して県民の読書活動の推進を行った。



◀平成29年2月12日（日）にイオンモール秋田の未来屋書店で行われた「えほんのよみきかせ会」



◀パネルシアター*などを
楽しんだ親子

(写真引用：
「読書活動だよりむすぶ」
第53号)

*パネルシアター

パネル布を貼った舞台に絵や文字を貼ったり、外したりして展開するおはなし、歌遊び。

◆「読書は楽しい！」の気持ちを広げます

(1)「ビブリオバトル」の普及と大会開催

高校生ビブリオバトルの地区大会を県内5会場で実施し32名が出場した。また、11月3日(木)の全県大会には選抜された10名が出場し、チャンプに選ばれた出場者が平成29年1月に東京で行われた全国大会に県代表として参加した。観戦者からは「本が読みたくなった」等の肯定的な感想が多数得られた。



◀県内5地区大会を勝ち上がってきた10名の高校生バトラーたち。「秋田県ブックリーダー賞」として図書カードが贈呈された。

- 平成28年度高校生ビブリオバトル秋田県大会 決勝に進出した本
「伊勢物語」(『21世紀版少年少女古典文学館 竹取物語 伊勢物語』)(俵万智著) **チャンプ本**
「君が電話をかけていた場所」(三秋綻著) **準チャンプ本**
「新釈 走れメロス他四編」(森見登美彦著)
「Aコース」(山田悠介著)

(2) 「読書絵はがきコンクール」の開催

応募総数は722作品(平成27年度571作品)と増加したため、県児童会館の展示観覧者も多く、期間を延長して展示したほか、作品の巡回展示を実施した図書館等も4館(平成27年度1館)となり、取組の裾野が広がった。



◀映し出された自分の作品の前での受賞
(平成28年11月3日(木)「みらいあ児童文化フェスティバル」席上)

(3) 幼少期からの読書活動推進体制の強化

市町村の読書推進担当者が出席する会議等において、学校図書館訪問によって把握した取組事例や課題等について報告し、子どもの読書環境整備への理解と協力を呼びかけた。また、市町村訪問等の機会を活用して読書推進を担う現場の課題やニーズを把握して施策への反映に努めた。

(4) 「県民読書の日」の啓発

11月1日の「県民読書の日」に合わせ、日本ペンクラブとの共催で「ふるさと文学2016『石川達三の秋田』」など、この日を中心に県民の読書活動推進のための各種イベントの開催や広報等を行った。

また、県民読書の日制定記念事業として創設された「ふるさと秋田文学賞」の第3回募集や入賞作品集刊行を通して、県民の読書意欲を喚起した。



◀ 「石川達三の秋田」で閉会のあいさつをする
浅田次郎氏（日本ペンクラブ会長）



「石川達三の秋田～読書が人をつくる」▶
座談会

2016/10/29

「ふるさと文学2016『石川達三の秋田』」の概要

1 目的

第2次秋田県読書活動推進基本計画開始年度の「県民読書の日」にちなみ、ふるさと秋田が生んだ作家に焦点を当て、作品に描かれた秋田の人や風土、歴史をたどり、読書につながる「秋田ならではの知の豊かさ」を再認識とともに、県民の読書習慣の継承等をテーマに話し合い、読書を秋田の地方創生の人づくりにつなげることを目的として、「ふるさと文学2016『石川達三の秋田』」を開催する。

2 共催

日本ペンクラブ・秋田県
(ふるさと文学2016 in 秋田実行委員会)

3 協賛

公益社団法人秋田県市町村振興協会、寛文五年堂、秋田魁新報社、秋田ビューホテル、CNA秋田ケーブルテレビ、全日空、大日本印刷

4 協力

ほくとライブラリー明徳館石川達三記念室
秋田県立図書館分館あきた文学資料館
岡山県高梁市歴史美術館
神戸市・海外移住と文化の交流センター

- 5 後援**
 秋田魁新報社、朝日新聞社、毎日新聞秋田支局、読売新聞秋田支局、日本経済新聞社秋田支局、産経新聞社秋田支局、河北新報社、北羽新報社、時事通信社、共同通信社、NHK秋田放送局、ABS秋田放送、AKT秋田テレビ、AAB秋田朝日放送、エフエム秋田、CNA秋田ケーブルテレビ、秋田県教育委員会、横手市、横手市教育委員会、仙北市、仙北市教育委員会、鹿角市、鹿角市教育委員会
- 6 開催日時・会場**
 平成28年10月29日（土） 13：00～16：30
 県児童会館けやきシアター
- 7 参加人数**
 740名 ※往復はがきによる申込み（入場無料）
- 8 内容**
- 13：00～
 ○「県民読書の日」記念 第3回「ふるさと秋田文学賞」表彰式
 (あいさつ) 佐竹 敬久(秋田県知事)
 小田美恵子(読書と図書活動をすすめる議員の会会長)
- 13：30～16：30
 ○「ふるさと文学2016『石川達三の秋田』」
 (あいさつ) 下重 曜子(作家・日本ペンクラブ副会長)
- 《第1部》映像「激流に浮かぶ小舟～石川達三の人・作品・世界」
 構成脚本 吉岡 忍(作家)
 映像制作 四位 雅文(映像作家)
 語り 片岡 一郎(活動写真弁士)
 作曲演奏 森 ミドリ(音楽家)
- 《第2部》石川達三の作品朗読「あんどれの母」(抄)
 朗 読 壇 蜜(俳優)
- 《第3部》座談会「石川達三の秋田～読書が人をつくる」
 浅田 次郎(作家・日本ペンクラブ会長)
 西木 正明(作家・日本ペンクラブ副会長)
 壇 蜜(俳優)
 佐竹 敬久(秋田県知事)
 コーディネーター：吉岡 忍
- 《第4部》パフォーマンス『踊る。秋田2016』
 •川村泉舞踊団による「Rais e」上演
 (第73回全国舞踊コンクールにおいて最高賞の文部科学大臣賞受賞)
 •『踊る。秋田2016』フェスティバル・ディレクター山川三太氏による公演内容紹介

第3回ふるさと秋田文学賞受賞作品集▶

○第3回受賞作品

【小説の部】

《ふるさと秋田文学賞》

「たちきる」 岩井圭吾（藤沢市）

《同 佳作》

「直武、りんどうの恋」 森川瑠美子（横浜市）

【隨筆・寄稿文の部】

《ふるさと秋田文学賞》

「山男と夫の贈り物」 石原敏子（大潟村）

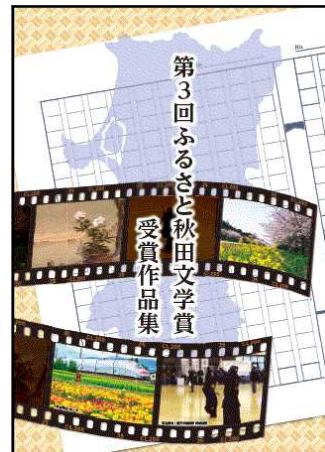
《同 佳作》

「こまちの旅」 遠藤美弥子（秋田市）

○第3回応募状況

・応募作品数 88点（小説46点 隨筆・紀行文42点）

・県内37点 県外51点（うち海外1点）



（5）読書の楽しさを伝えるために活動している県民の紹介

小学校で読み聞かせをしているボランティアグループ、高校生ビブリオバトル参加者、郷土にゆかりのある作家の研究会などを取材し、行動人ウェブサイトで紹介した。平成28年度の紹介者数は182人となり、平成27年度からの累計では307人となった。



◀読み聞かせグループ「ポシェット」の活動

行動人	検索
-----	----

5 効果測定項目と数値目標【平成28年度】実績一覧

(表の見方)				
◆「施策の柱」欄				
I 家庭における読書活動の推進	19項目			
II 学校・職場における読書活動の推進	21項目			
III 地域における読書活動の推進	13項目			
IV 県民協働による読書活動の推進	11項目			
計	64項目			

施策の柱	施 策	効果測定項目	数値実績		
			H27	H28	H32目標
I	家族で読書運動の提唱と普及	週3時間以上(または1日30分以上)読書をする人の割合	54.4%	47.9%	70.0%以上
	子ども向け資料の充実	0~12歳の年間新規登録者数	510人	450人	570人
	子どもの読書に関する相談活動、おはなし会等の充実	相談件数	140件	139件	150件
		おはなし会実施回数	21回	24回	23回
		おはなし会参加人数	580人	592人	690人
	医療・保健分野との連携による子どもの読書習慣づくり	協力病院等数	—	184施設	50施設
	中・高校生の読書推進	13~18歳の年間新規登録者数	219人	201人	300人
	高齢者向け資料の整備、シニアコーナーの充実	60歳以上の年間新規登録者数	297人	292人	360人
	高齢者などへの読書支援	電話(対面)朗読ボランティア活用者実数	9人	11人	50人
	県立図書館の資料の整備と充実	年間購入冊数	14059冊	14,894冊	※1 約13,500冊
	生活課題解決のための読書や図書館利用の促進	「取組を知っている」と答える利用者の割合	4.0%	隔年調査	30.0%
		「取組に満足している」と答える利用者の割合	—	上記と同時調査	60.0%
		市町村立図書館等のサービス実施館数	40館	51館	50館
	県民の読書ニーズに対応できるサービス機能の強化	「レファレンス・サービスを知っている」と答える利用者の割合	33.0%	隔年調査	50.0%
		「レファレンス・サービスに満足している」と答える利用者の割合	—	上記と同時調査	60.0%
	電子書籍を活用した図書館サービスの充実	電子書籍所蔵点数	4,906点	4,906点	10,000点
		年間利用点数	289点	70点	1,000点
	ホームページやブログ等を活用した情報発信	県立図書館ホームページのアクセス数	265,337件	250,146件	270,000件
		「あきたブックネット」のアクセス数	908件	4,932件	2,000件
I 家庭における読書活動の推進 計19項目					

※1~H26の購入実績を基準とみなした冊数。

※2~平均的な単価を1,600円として現行予算で算出した冊数。

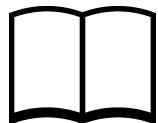
※3~H27年度から訪問形態を各市の中央図書館での集合型に変更。相談が集約される傾向にあるため。

※4~市町村立図書館等を通じた地域ボランティア支援の定着化傾向とH27年度実績見込みから推定。

	施策の柱	施 策	効果測定項目	数値実績		
				H27	H28	H32目標
20	II 就学前施設における読み聞かせの推奨 特別支援学校における取組 学校図書館の活性化支援 (情報提供や貸出による支援)	就学前施設における読み聞かせの推奨	受講者の肯定的評価の割合	90.0%	90.0%	90.0%
21		特別支援学校における取組	校内の読書環境の整備と改善に定期的に取り組んでいる学校の割合	80.0%	100%	100%
22		学校図書館の活性化支援 (情報提供や貸出による支援)	小・中学校、高等学校、特別支援学校の事例紹介数	7件	14件	(累計) 50件
23			学校図書館への年間貸出冊数	9,737冊	10,942冊	10,000冊
24			学校向け図書の年間購入冊数	355冊	2,419冊	※2 300冊
25		県立学校図書館職員等への研修機会の提供	「研修に満足した」と答える参加者の割合	—	96.0%	80.0%
26		地域開放に向けた取組	学校図書館を地域に開放している学校の割合 (隔年調査)	(H26) 2.6%	5.1%	10.0%
27		大学図書館と県立図書館との連携強化	大学図書館との相互貸借の年間貸出冊数	401冊	349冊	350冊
28			大学図書館との相互貸借の年間借受冊数	43冊	66冊	60冊
29	II 職場における読書環境の整備 (企業内文庫の設置) 女性の活躍を応援する読書の推進 仕事や就労に関連する読書支援 小・中学生が主体的に読書ができるような授業づくりの紹介 高校生の主体的な読書活動の充実 特別支援学校における読書活動の充実 図書館における読書への興味・関心を高める取組	職場における読書環境の整備 (企業内文庫の設置)	「1日平均30分以上読書をしている」と答える 30～40歳代の割合	30歳代 46.1%	35.2%	55.0%
30				40歳代 47.7%	32.4%	55.0%
31		仕事や就労に関連する読書支援	「1日平均30分以上読書をしている」と答える女性の割合	52.6%	47.8%	70.0%
32			「取組を知っている」と答える利用者の割合	4.0%	隔年調査	30.0%
33			「取組に満足している」と答える利用者の割合	—	上記と同時 調査	60.0%
34		小・中学生が主体的に読書ができるような授業づくりの紹介	市町村立図書館等のサービス実施館数	13館	15館	20館
35			「読書が好き」と答える児童生徒の割合	55.1%	55.1%	70.0%
36		高校生の主体的な読書活動の充実	「週に1回以上学校図書館等に行く」と答える児童生徒の割合	13.7%	13.4%	20.0%
37			1か月に1回以上学校図書館等を利用する生徒の割合	19.3%	22.3%	40.0%
38		1か月に本を1冊以上読む生徒の割合	59.9%	57.6%	70.0%	
39		特別支援学校における読書活動の充実 図書館における読書への興味・関心を高める取組	様々な読書活動に関わり、本に親しんだ児童・生徒の割合	75.0%	97.2%	100%
40			「セカンドスクール的利用等に満足した」と答える児童・生徒・学生の割合	—	93.8%	80.0%
II 学校・職場における読書活動の推進 計21項目						

施策の柱	施 策	効果測定項目	数値実績		
			H27	H28	H32目標
41	III	様々な県民運動との連携による読書活動の推進	「満足した」と答える参加者の割合	—	79.7% 80.0%
42		県児童会館での子どもの読書活動の推進	県子ども読書支援センターから県児童会館図書室への資料貸出冊数	1,226冊	1,033冊 1,200冊
43		「子ども読書の日」の周知と取組奨励	実施市町村数と取組件数	25市町村 150件	25市町村 195件 200件
44		生涯学習としての読書活動の奨励	講座や読書活動で生涯学習手帳を活用している市町村の割合	72.0%	84.0% 100%
45		県立図書館による市町村立図書館等の利用促進支援	市町村立図書館等への年間貸出冊数	23,747冊	22,682冊 22,000冊
46			市町村立図書館等の相談件数	199件	175件 ※3 220件
47		市町村立図書館等職員の育成	「研修に満足した」と答える参加者の割合	—	96.5% 85.0%
48		地域の読書活動を支える人づくり	「研修に満足した」と答える参加者の割合	—	100% 85.0%
49		読み聞かせ団体等への活動支援	県子ども読書支援センターの読書ボランティア団体等への年間貸出冊数	2,776冊	2,720冊 2,500冊
50			県立図書館からボランティア団体等への年間貸出冊数	748冊	542冊 ※4 700冊
51		「秋田県読書フェスタ」の開催	県主催の読書イベントの参加人数	1,571人	1,636人 1,900人
52		秋田県デジタルアーカイブの活用促進	登録データ数	601,879件	606,957件 615,000件
53			閲覧回数	29,522件	33,400件 30,000件
III 地域における読書活動の推進 計 13 項目					

施策の柱	施 策	効果測定項目	数値実績		
			H27	H28	H32目標
54	IV	県と市町村の協働による推進体制の強化	読書活動に関する市町村との意見交換会における意見等についての施策への反映	反映状況は年次報告書に記載	
55		県民の寄贈によるリサイクル文庫の普及	リサイクル文庫寄贈冊数・配布か所数	2,418冊 49か所	2,363冊 129か所 1,800冊 80か所
56		視覚障がい者の読書推進	点字・音声による図書の製作・貸出数	製作251件 貸出7,399件	製作243件 貸出7,298件 製作550件 貸出8,200件
57		雑誌スポンサー制度の充実	公立図書館のスポンサー企業数	57企業	65企業 60企業
58		外部機関等と連携した図書館利用促進	イベント開催回数	61回	64回 60回
59			イベント参加者数	23,267人	21,070人 23,000人
60		「ビブリオバトル」の普及と大会開催	ビブリオバトル参加後「読書がしたくなった」と答える参加者の割合	—	95.6% 80.0%
61		「読書絵はがきコンクール」の開催	作品展を実施する図書館等の数	1館	4館 6館
62		幼少期からの読書活動推進体制の強化	秋田県子ども読書活動推進会議における協議内容の施策への反映	反映状況は年次報告書に記載	
63		「県民読書の日」の啓発	「県民読書の日」を知っていると答える参加者の割合	—	78.8% 50.0%以上
64		読書の楽しさを伝えるために活動している県民の紹介	読書活動関連「行動人」数	125人	307人 625人
IV 県民協働による読書活動の推進 計 11 項目					



スキッチリサイクル文庫事業へのご協力 ありがとうございました。(ご報告)

※スキッチリサイクル文庫とは・・・ご家庭に眠っている絵本や児童書を県民の皆様に寄贈していただき、子どもたちが集まる施設で再利用していただく取組です。

H23~28年度の6年間で、**762名**の県民の皆様
から、**16,355冊**の絵本・児童書が寄贈され、
692か所の施設で再利用されました。
ご協力ありがとうございました。



秋田県企画振興部総合政策課



設置施設	保育所・幼稚園	児童館・児童クラブ	病院等	児童福祉子育て支援施設	企業	その他	合計
施設数	247	162	154	41	38	50	692

前にも一度、絵本を頂きありがとうございました。子どもたちに人気の絵本は傷みもひどく、買い替えようと本屋さんに行っても、どの絵本が子どもたちに良い絵本なのか迷い、大変だと思った時がありました。とても良い絵本を送って頂き、感謝しております。(県内病院)

まだまだとてもきれいな絵本たちばかり、これをまた別の子どもたちのもとで再利用されるということはとてもいいことありがとうございます。『絵本は心の栄養です』ものね…当園の子どもたちも「次はあれよんでも～」とか「もう1回よんでも～」などという声をあげて毎日の生活の中で役立てています。(県内保育園)

たくさんの絵本が子どもたちとの出会いを待っています。



© 2015 秋田県んだッチ H280127

新しい名前は
「読んだッチ・リレー文庫」です。
お問合せ・設置のお申込は
秋田県総合政策課県民読書推進班
電話 018-860-1216
FAX 018-860-3873
[あきたブックネット](#) [検索](#)

秋田県は県民運動として読書活動の推進に取り組んでいます。
(毎年11月1日は県民読書の日)